

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:babazono@cc.kochi-u.ac.jp">babazono@cc.kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。						
授業計画	①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。						
達成目標(達成水準)	自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。						
授業時間外の学習	自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。						
教科書・参考書	特に指定していない。						
成績評価の基準と方法	出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:uragaki@kochi-u.ac.jp">uragaki@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:fuki@s.kochi-u.ac.jp">fuki@s.kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 <a href="http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html">http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html</a>						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	15901	授業題目	英語教育特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	金 3
担当教員名	那須恒夫			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8377			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:nasu@kochi-u.ac.jp">nasu@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英語教育学の領域や研究課題、調査の方法について理解を深める。						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 応用言語学と英語教育学 第3回 第2言語獲得のモデル 第4回 カリキュラム 第5回 言語材料の指導 第6回 Interlanguage 第7回 学習者要因と動機づけ 第8回 4技能の指導(1) 第9回 4技能の指導(2)、第10回 英語の構造とコミュニケーション能力 第11回 英語授業の観察 第12回 測定と評価 第13回 異文化能力 第14回 外国語教育国際比較 第15回 課題提出						
達成目標(達成水準)	英語教育学の領域や研究課題、調査方法について理解を深める。関連する論文を読み、特定の研究領域に関する研究の動向について理解する。授業時間外の学習前もって、予習を行う。						
授業時間外の学習	テキストを熟読し、必ず毎時間の復習、予習を欠かさないこと。テキストで学習した内容については、多くの参考文献で確認すること。疑問に思うことは授業外でも必ず質問すること。						
教科書・参考書	テキスト: David, Nunun (1992) Research Method in Language Learning. Cambridge Univrsity Press. その他、関連する内容についてプリントを配布する。 参考書:						
成績評価の基準と方法	関心のある論文を数点読んで、その概要をまとめる。自分の研究計画の概要を作成する。 論理的な概要、研究方であるかを評価の基準とする。						

授業コード	15902	授業題目	英語教育特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 3
担当教員名	那須恒夫			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8377			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:nasu@kochi-u.ac.jp">nasu@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	文法と発音指導に関する論文を読み、研究の動向について理解を深める。						
授業計画	第1回オリエンテーション、第2回～第7回 発音指導の研究に関する論文を読む 第8回～第14回 文法指導に関する論文を読む、第15回課題提出						
達成目標(達成水準)	発音や文法の指導に関する研究の方法について理解を深める。二つの研究領域に関する研究の動向について理解する。						
授業時間外の学習	前もって、予習を行う。						
教科書・参考書	テキスト: Tracy M. Derwing, Murray J Munrou, and Grace Wiebe (1998) `Evidence in favour of a broad framework for pronunciation instruction' , LL. 48. 3, 393-410. Robert M. Dekeyser (2005) `What makes learning second-language grammar difficult? A review of issues' , LL. 55, Supplement 1, 1-25.						
成績評価の基準と方法	国際誌の中から関心のある論文を数点読んで、その概要をまとめ、発表する。 発表の内容、まとめ方、わかりやすなどを評価の基準とする。						



授業コード	15903	授業題目	英語教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	多良静也			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8380			担当教員 E-Mail	tara@kochi-u.ac.jp, kochi_yosakoi@yahoo.co.jp		
授業テーマと目的	英語教育に関する最新の研究を読み、研究・実践の現状を理解する。						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回・第3回 認知から見た言語習得 第4回・第5回 社会言語学的視点による第二言語習得 第6回・第7回 バイリンガルの言語習得 第8回・第9回 教室第二言語習得研究と外国語教育 第10回・第11回 語彙の習得 第12回・第13回 リスニング 第14回・第15回 まとめ						
達成目標(達成水準)	最新の言語習得、言語教授研究に関する知見を深める。						
授業時間外の学習	テキストの熟読、問題意識をもつ						
教科書・参考書	テキスト: 小池生夫(編集主幹). 2004. 『第二言語習得研究の現在』大修館書店						
成績評価の基準と方法	出席状況(50%)、授業での発表(30%)、最終レポート(20%)						

授業コード	15904	授業題目	英語教育特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	多良静也			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8380			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:tara@kochi-u.ac.jp">tara@kochi-u.ac.jp</a> , <a href="mailto:kochi_yosakoi@yahoo.co.jp">kochi_yosakoi@yahoo.co.jp</a>		
授業テーマと目的	英語教育に関する最新の研究を読み、研究・実践の現状を理解するとともに、科学的、客観的に分析を行うことができるための統計的な知識を習得する。						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回・第3回 スピーキング 第4回・第5回 リーディング 第6回・第7回 ライティング 第8回・第9回 早期英語教育と小学校英語教育 第10回・第11回 言語テストと評価 第12回～14回 英語教育研究としての統計学 第15回 まとめ						
達成目標(達成水準)	最新の言語習得、言語教授研究に関する知見を深める。また研究に必要となるであろう統計知識および関連ソフトを使いこなせる技能の習得。						
授業時間外の学習	テキストの熟読、問題意識をもつ						
教科書・参考書	テキスト: 小池生夫(編集主幹). 2004. 『第二言語習得研究の現在』大修館書店						
成績評価の基準と方法	出席状況(50%)、授業での発表(30%)、最終レポート(20%)						

授業コード	15911	授業題目	英語学特論 I			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	木 2
担当教員名	谷口雅基			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	088-844-8378			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:tamasaki@kochi-u.ac.jp">tamasaki@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英語音声の理論を研究するとともに日本人の英語コミュニケーション能力の向上のためにその理論をいかに応用すべきかについて考察する。						
授業計画	研究項目は、個々の音声、連音、リズム、イントネーションにとどまらず、可能な限り音声学と統語論、意味論、実用論、コミュニケーション論等との関連にも及ぶ。						
達成目標(達成水準)	英語音声の理論を把握するのみならず、すべての英語音声の運用能力を国際的に通用するレベルへ向上させ、また英語を用いて研究発表を行い、研究論文を書く能力を身につけること。						
授業時間外の学習	英語音声学および英語音声教育に関する書籍を読み、関連する音声材料を聴くこと。関連する学会に参加し、研究発表を見学し、また自ら研究した内容を発表すること。						
教科書・参考書	教科書：西原忠毅・谷口雅基『英語音声学の理論と実践：英米の比較』、参考書：J. C. Wells, <i>Longman Pronunciation Dictionary</i> , J. C. Wells, <i>English Intonation</i> , M. Ashby and J. Maidment, <i>Introducing Phonetic Science</i> , P. Ashby: <i>Speech Sounds</i>						
成績評価の基準と方法	課題レポート 50%、口頭発表 30%、出席 20%						

授業コード	15912	授業題目	英語学特論演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	木 2
担当教員名	谷口雅基			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	088-844-8378			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:tamasaki@kochi-u.ac.jp">tamasaki@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英語音声の音声、リズム、イントネーションにおける種々の現象を考察し、日本人向けの教育改善法を考究する。						
授業計画	音声表記、調音法、調音部位、母子音の分類、音素と異音、R-リエーション、強母音と弱母音、成節子音、同化、平準化、音省略、分節、強勢、リズム、イントネーション、音声教育法等についての学生による主体的研究発表を指導する。						
達成目標(達成水準)	英語音声の理論を把握するのみならず、すべての英語音声の運用能力を国際的に通用するレベルへ向上させ、また英語を用いて研究発表を行い、研究論文を書く能力を身につけること。						
授業時間外の学習	英語音声学および英語音声教育に関する書籍を読み、関連する音声材料を聴くこと。関連する学会に参加し、研究発表を見学し、また自ら研究した内容を発表すること。						
教科書・参考書	教科書：西原忠毅・谷口雅基『英語音声学の理論と実践：英米の比較』、参考書：J. C. Wells, <i>Longman Pronunciation Dictionary</i> , J. C. Wells, <i>English Intonation</i> , M. Ashby and J. Maidment, <i>Introducing Phonetics Science</i> , P. Ashby: <i>Speech Sounds</i>						
成績評価の基準と方法	課題レポート 30%、口頭発表 50%、出席 20%						

授業コード	15913	授業題目	英語学特論 II			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	水2
担当教員名	松原史典			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	088-844-8374			担当教員 E-Mail	fuminori@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	英語学の定義及びその体系を紹介する。特に英語学における統語論(付随して形態論及び意味論)に焦点をあて、生成文法理論の習得を目的とする。						
授業計画	1~2. Words and Categories    3~4. Phrase Structures    5~6. Theta-Roles and Case 7~8. Clause Types and Expletives    9~10. Raising, and Passivization    11~12. Wh-Movement 13~15. Movement and Locality Conditions						
達成目標(達成水準)	統語理論の習得を通して、様々な文法現象(言語現象)を原理的・理論的に説明することを目標とする。特に、ネイティブがどのようにしてその語、句、文の(非)文法性を判断しているのかを探究する。						
授業時間外の学習	テキストを熟読し、必ず毎時間の復習、予習を欠かさないこと。テキストで学習した内容については、多くの参考文献で確認すること。疑問に思うことは授業外でも必ず質問すること。						
教科書・参考書	<p>テキスト: Haegeman, L.. and J. Guéron (1999) <i>English Grammar: A Generative Perspective</i>. Blackwell. Oxford.</p> <p>参考書: 1) Radford A. (2004) <i>Minimalist Syntax: Exploring the Structure of English</i>. Cambridge University Press.</p> <p>2) Carnie, A. (2002) <i>Syntax: A Generative Introduction</i>. Blackwell. Oxford.</p>						
成績評価の基準と方法	出席、毎回の授業発表及び授業への貢献、予習状況 (80%)、小テスト及びレポート(20%)を考慮し総合的に評価する。特に出席に関しては3回以上欠席しないこと。						

授業コード	15914	授業題目	英語学特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	水2
担当教員名	松原史典			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	088-844-8374			担当教員 E-Mail	fuminori@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	英語学における統語論の応用を目指す。特にミニマリスト・プログラムの枠組みを概観・理解することを目的とする。						
授業計画	1～2. VP-shells 3～4. VP-Internal Subject Hypothesis 5～6. Expletives and Unaccusatives 7～8. To-Infinitival Complements 9～10. Relative Clauses 11～12. Anaphors and Binding Conditions 13～15. Auxiliary Verbs and NegP						
達成目標(達成水準)	ミニマリスト・プログラムを概観・理解し、様々な文法現象を原理的・理論的に説明することを目標とする。特に、ネイティブがどのようにしてその語、句、文の(非)文法性を判断しているのかを探求する。						
授業時間外の学習	テキストを熟読し、必ず毎時間の復習、予習を欠かさないこと。テキストで学習した内容については、多くの参考文献で確認すること。疑問に思うことは授業外でも必ず質問すること。						
教科書・参考書	<p>テキスト: Haegeman, L. and J. Guéron (1999) <i>English Grammar: A Generative Perspective</i>. Blackwell. Oxford.</p> <p>参考書: 1) Radford A. (2004) <i>Minimalist Syntax: Exploring the Structure of English</i>. Cambridge University Press.</p> <p>2) Carnie, A. (2002) <i>Syntax: A Generative Introduction</i>. Blackwell. Oxford.</p>						
成績評価の基準と方法	出席、毎回の授業発表及び授業への貢献、予習状況 (80%)、小テスト及びレポート(20%)を考慮し総合的に評価する。特に出席に関しては3回以上欠席しないこと。						

授業コード	15921	授業題目	英米文学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	一年次	開講時期	一学期	曜日・時限	火 5限
担当教員名	小比賀香苗			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8379			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:obika@kochi-u.ac.jp">obika@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英文学、特に英国現代小説の内容構成、認識方法、そしてファンタジーを視点にして、著名な作品を取り上げ、縦軸横軸からの英文学上のキャンオンとしての位置づけをはかることを目的とする。						
授業計画	イントロダクション、毎回のプレゼンテーションと著名作品の精読分析、質疑応答、中間発表等により、展開していく。						
達成目標(達成水準)	各自の研究課題に寄与するべく、研究手法の確認とその実践によって研究成果としてのレポートを作成する。						
授業時間外の学習	講義毎の発表原稿作成と精読の予習整理						
教科書・参考書	小比賀香苗著『ファンタジーの方法』、『児童文学のすすめ』(溪水社) その他、各自の研究課題に調整して選択していく。						
成績評価の基準と方法	プレゼンテーションと発表原稿、レポート等により、総合的に判断する。						

授業コード	15922	授業題目	英米文学特論演習			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	一年次	開講時期	二学期	曜日・時限	火 5限
担当教員名	小比賀香苗			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8379			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:obika@kochi-u.ac.jp">obika@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英文学、特に英国現代小説の内容構成、認識方法、そしてファンタジーを視点にして、著名な作品を取り上げ、縦軸横軸からの英文学上のキャンオンとしての位置づけをはかることを目的とする。						
授業計画	イントロダクション、毎回のプレゼンテーションと著名作品の精読分析、質疑応答、中間発表等により、展開していく。						
達成目標(達成水準)	各自の研究課題に寄与するべく、研究手法の確認とその実践によって研究成果としてのレポートを作成する。						
授業時間外の学習	講義毎の発表原稿作成と精読の予習整理						
教科書・参考書	小比賀香苗著『ファンタジーの方法』、『児童文学のすすめ』(溪水社) その他、各自の研究課題に調整して選択していく。						
成績評価の基準と方法	プレゼンテーションと発表原稿、レポート等により、総合的に判断する。						



授業コード		授業題目	英語教育実践研究 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 2、月 2
担当教員名	那須・多良			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8377, 8380			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:nasu@kochi-u.ac.jp">nasu@kochi-u.ac.jp</a> , <a href="mailto:tara@kochi-u.ac.jp">tara@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	英語教育における研究成果を踏まえて、附属校園での授業研究をもとに、教材開発、教材研究、指導法などについて、理論的に研究することを指導する。						
授業計画	プレゼンテーションと質疑応答、レポート作成により積み上げ、展開していく。						
達成目標(達成水準)	高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を身につける。						
授業時間外の学習	各自の課題について学習すること。						
教科書・参考書	各自の研究課題に調整選択						
成績評価の基準と方法	プレゼンテーション、レポート等により、総合的に判断する						

授業コード		授業題目	英語教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1学期	曜日・時限	木4,月4,木5
担当教員名	谷口雅基、松原史典、小比賀香苗			担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8378, 8374, 8379			担当教員 E-Mail	<a href="mailto:tamasaki@kochi-u.ac.jp">tamasaki@kochi-u.ac.jp</a> , <a href="mailto:fuminori@kochi-u.ac.jp">fuminori@kochi-u.ac.jp</a> , <a href="mailto:obika@kochi-u.ac.jp">obika@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	附属校園などで行われている授業の記録・観察および授業資料の研究などを通して、英語の授業のあり方や教材開発を、院生の専門領域を生かして、実践的に研究することを指導する。						
授業計画	プレゼンテーションと質疑応答、レポート作成により積み上げ、展開していく。						
達成目標(達成水準)	高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を身につける。						
授業時間外の学習	各自の課題について学習すること。						
教科書・参考書	各自の研究課題に調整選択						
成績評価の基準と方法	プレゼンテーション、レポート等により、総合的に判断する						

授業コード		授業題目	英語教育実践研究 I (長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限
担当教員名	那須・多良・小比賀・谷口・松原			担当教員所属	英語教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。					
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。					
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。					
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	英語教育実践研究 II(長期インターンシップ)		単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限
担当教員名	那須・多良・小比賀・谷口・松原			担当教員所属	英語教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。					
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。					
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。					
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。					
教科書・参考書	随時指示する。					
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。					

授業コード		授業題目	課題研究		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	1, 2 学期	曜日・時限
担当教員名	那須・谷口・小比賀		担当教員所属	英語教育専修		
担当教員電話	844-8377, 8378, 8379		担当教員 E-Mail	<a href="mailto:nasu@kochi-u.ac.jp">nasu@kochi-u.ac.jp</a> <a href="mailto:tamasaki@kochi-u.ac.jp">tamasaki@kochi-u.ac.jp</a> <a href="mailto:obika@kochi-u.ac.jp">obika@kochi-u.ac.jp</a>		
授業テーマと目的	各自の研究課題を設定し、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成を図るとともに、院生自らが主体的に研究する能力を開発し、研究内容の集大成を目指すよう指導する。					
授業計画	プレゼンテーションと質疑応答、毎回のレポート作成により積み上げ、展開していく。データの分析、考察、まとめなど内容の細部にわたって検討する。					
達成目標(達成水準)	各自の研究課題の研究成果としてのレポートを作成し、修士論文資料としていく(そのためには積極的に各自の関連する学会に参加し、自らの研究をより高度なものに高めていくことが望ましい)。					
授業時間外の学習	各自の課題のレポート作成(指導教員によって若干異なる)					
教科書・参考書	各自の研究課題に調整選択(指導教員によって若干異なる)					
成績評価の基準と方法	プレゼンテーションと発表原稿、レポート等により、総合的に判断する(最終的には、英語専修内で行う修士論文口頭試問によって判定される)。					